大正５年５月５日木藤精一郎創立

# やまゆき会会報

平成 30 年６月号

# 例　会　報　告

**生駒金剛和泉：生駒山・日下越**　中級Ｄ（予告）→Ｃ（実施）

４月１日（日）晴れ　担当：北川 隆史　参加者９名

例会予告のコースは、イノラムキ古墳の尾根を登り、鉄塔巡視路を経由して、日下直越の谷道に合流、谷を登って生駒山上へというものだったが、巡視路が急斜の悪路のため、当日のメンバーの安全を優先して、コースを逆回りに変更した。このため、難易度は予告の「Ｄ」から「Ｃ」になった

谷道と分かれた日下直越道が一登りで尾根上に出たところに神武天皇顕彰碑がある。そこで休憩したのち、尾根道に戻って緩やかに高度を上げていくと鉄塔に出た。送電線の下が刈り掃われて南に展望が開け、谷を挟んでイノラムキ古墳の尾根が見える。間もなく次の鉄塔が見えてくる。広い山道を外れて、急な巡視路を登って鉄塔のあるピーク上に出ると大阪市街を見晴るかす展望が開ける。残念ながら今日は霞んでいて北摂から六甲までの山並みは見えない。巡視路をさらに東へと辿り縦走路に出る。これを北にしばらく歩くと古い石造りの常夜灯がある灯篭ゲートに至る。これが日下直越え道の山上の終点となる。奈良側へのコースは不明のようだ。

縦走路を生駒山上方面へと戻り、日下の谷の源頭部を過ぎると「こぶしの谷」に出る。その名の通りコブシの木が沢山植えられており、真っ白な花が満開の時期を迎えていた。扇状に開けた谷に下ると、白いコブシの花に交じって、咲残りの白や赤のウメの花、はや盛りの過ぎたヤマザクラの花と、すばらしい花盛りが広がる。ここで昼食とし、出発前に花盛りの木々を背景に集合写真を撮影する。

近くにあるわんぱく砦という名の展望台から「くさか園地」の遊歩道に下り、ヤマザクラの花が残る林間の小路をこぶしの谷へと戻り、イノラムキ古墳コースに入る。緩やかな尾根を下って鉄塔を過ぎると間もなくでイノラムキ古墳が現れる。幅約 2 メートル、奥行数メートルの石室が南側に開口した横穴式古墳で、7 世紀ごろの地元豪族の墓ではないか、という説明板がある。

ここからはかなり急な下降路となり、疲れた足には厳しい下りである。ようやく、日下新池のほとりに下山すると、満開のサクラの下で大勢の花見客が宴の最中であった。ゆっくり休憩を取り、石切駅に戻って解散した。

コースタイム

近鉄奈良線石切駅(9:05)～日下新池(9:15～9:25)～日下直越道入口(9:45)～神武天皇顕彰碑(10:05～10:15)～鉄塔(10:55～11:05)～灯篭ゲート(11:25)～こぶしの谷(12:00～12:45)～

わんぱく砦(12:55)～イノラムキ古墳コース上部入口(13:05)～イノラムキ古墳(13:20～13:25)～日下新池(14:05～14:20)～近鉄奈良線石切駅(14:30)

**京都盆地：　御土居史跡巡り**　初級 B

4 月 1 日(日)　晴　担当:藤井眞紀子　参加者 18 名

豊臣秀吉が大規模な京都改革事業として構築した京の都の城壁「御土居」の史跡を巡ることにした。全長 22.5 キロにおよぶ壮大な土塁による城壁(基底部巾 20m、頂上部巾 5m、高さ 5 m)だが、今では北西部を中心に僅かに名残をとどめるのみとなっている。

九時半に地下鉄北大路駅に集合。事前に用意した資料を配り、コースの説明をして出発した。春の穏やかな晴天のもと、最初の御土居まで予定を変更して、早くも見頃になったサクラを楽しむため賀茂川沿いを歩いた。両岸の満開のサクラが私たちを迎えてくれた。又、対岸の「半木の道」のベニシダレザクラも、やはり例年より早く開花していた。遠くに目をやると比叡山、大文字山から東山連峰と見渡せ、素晴らしい景色だった。

上賀茂橋手前で賀茂川とも分かれ加茂川中学校前の御土居へ。北東角の屈曲部分にあたり、今は堀川通りの東側と西側に分断されている御土居を見学(高さ約 1 mほど)。その後、大宮交通公園まで歩き、園内南側にある御土居を見学して休憩をとる。次に向かったのは玄琢下の御土居。ここは保存状態が最もよく約 250mにわたって現存している。金網で囲われ普段は外からしか見ることができないが、前々日に市(京都市文化財保護課)に申請して鍵を借りており、中に入ることが出来た。御土居の頂部に登ると京都の町が見渡せ高さが実感でき、ゆっくり端まで歩いて見学した。その後、北西角にあたる鷹峯の御土居へ。途中、御土居の基底を利用して築いた住宅地を通る。鷹峯の御土居も市から借りた鍵で入り見学(御土居と堀の構造が良く分かる場所)。ここもサクラが満開だった。

次に向かった御土居史跡公園で昼食。食後は、御土居から少し離れ、静かな鏡石通りを歩いた。通りに面した家々の軒先にはいろんな花が咲き、目を楽しませてくれた。長い階段を降りて紙屋川に出て、川沿いを下り北大路通りへ。ここは通りが上を走り、堀の部分がトンネルになっていて高低差が実感できる。少し歩いて紙屋川公園のサクラの下でのんびり休憩。その後続いて西土居町、平野鳥居前町の御土居を見学し、本日最後の北野天満宮へ到着。御土居は境内の西側にあり、ここも 250mほどの長さが残っている。残念ながら中は見学出来なかったが、階段を上り南側端から御土居を見学した。予定していた7ヶ所全てを見て回ることが出

来、北野天満宮前のバス停で解散した。
　秀吉時代の御土居に囲まれた京都の街並みに思いをはせながら、満開のサクラを満喫した一日だった。
　コースタイム
地下鉄烏丸線北大路駅(9:45)～御土居(加茂川中学校前)(10:10)～大宮交通公園(10:30～10:45)～御土居(玄琢下)(10:55～11:15)～御土居(鷹峯・光悦堂前)(11:40～11:55)～御土居史跡公園(12:10～12:40)～紙屋川公園(13:10～13:20)～御土居(西土居町)(13:25)～御土居(平野鳥居前町)～御土居(北野天満宮境内)(13:40)～北野天満宮前バス停(14:00)

**播磨新宮：　鶴觜山**　中級C

4 月 4 日(水) 晴後曇り　担当:石田幸弘　参加者 3 名

・龍野の近畿自然歩道や揖保川のあたりは何回か歩いたが、鶴觜山はいつもパスしていたので歩いてみたかった。
　今回はこじんまりとまとまり、地図と磁石を何回も取り出してトレーニング、それなりにゆっくりとした山行だった。前田さんの事前調査で分かった大住寺古墳群にも寄って来た。

・最近は寒暖の差が大きく、数日間隔で乱高下する。今日は暖かい日で、サクラもびっくりしているだろう。JR 姫神線播磨新宮駅から一駅戻って東觜崎駅までの低山巡りの山行だ。
　市街地を抜けて吊橋を渡った。揖保川は満々と水をたたえ、ゆったりと流れていた。
　橋を渡った左岸には大小の石臼を埋め込んだ護岸壁があった。そうめん用の粉をひいた石臼だったのだろう！

　このまま左岸を下ると大きな磨崖仏があるが、今回は志んぐ荘から左の谷に入った。公園の中には小滝があり、宮本武蔵の修行場とあった。

・公園を抜け林道出合から峠を越えて、貴船山で少し早い昼食にした。引き返して南の鶴觜山へ、三角点の南側は大展望台で南西川向こうに寝釈迦、南は岩稜帯の縦走路、東眼下には鴨池などのため池が広がっている。タイコ岩、屏風岩と下り、皿池横の古墳群を散策、土地の親切なおじさんが案内してくれた。最後にそうめんの里へ、二階建ての建物には遣唐使により伝えられたそうめんの歴史や機器の展示室、実演、売店の他に試食コーナーでは早くも流しそうめんをやっていた。
　コースタイム

JR 姫神線播磨新宮駅(9:40)～吊橋(10:00)～国民宿舎・志んぐ荘(10:03)～犬かえりの滝・東山公園(10:10)～林道出合(10:30)～四叉路峠(11:08)～貴船山(点名・宮垣内)260.9m・四等三角点(11:25～11:50)～四叉路峠(12:00)～鶴觜山(点名・池の内)263.0m・四等三角点(12:45～12:50)～タイコ岩(13:00)～屏風岩(13:27～13:32)～林間広場(13:55)～大住寺古墳群(14:15～14:35)～そうめんの里・解散(14:50～15:05)

## 第 44 回大阪府山岳連盟主催・チャレンジ登山大会への支援活動

4 月 7 日(土)～8 日(日)　担当:松川元信

7日(土)　曇　　参加者 6 名

今期よりチャレンジ登山大会への支援を初めて担当することになり、不慣れなまま当日を迎える。

阪急西宮北口駅に前泊組が集合して浜崎さんの車で 9 時に出発する。10 時過ぎにやまゆき会担当・第2ポイント竹之内峠(以下P2と表示)の大日池駐車場に到着する。現地は風が強く非常に寒い。岡本さんと合流して会が保管するP2 の備品類を受け取る。竹之内フィッシングセンターに挨拶に伺い、8 日に林道入口のゲートの開門をお願いする。山岳連盟本部にP2 の到着を連絡してテント類等の資材搬入時間を確認する。山岳連盟のトラックが到着し、設営資材を降ろし要望数を点検後に小屋に保管する。昼食後に全員で岩屋峠に登る。峠でコースを外れないように念入りに進入禁止の標識を 6 ヶ所に取り付ける。P2 に下りながらコースや進入禁止の標識を設置後に岡本さんが帰る。

浜崎さんの車で平石峠の手前まで行き、林道を縦走路が交差する平石峠に向かう。平石峠に着き、ここで2班に分かれ、北川・松川班は岩橋山方向に、原田・石田班はP2(大日池)方向に標識設置作業を行う。終了後に、翌日の受付場所の確保のためテントの骨組みを設置する。宿舎先の公民館に向かう。

8日(日)　曇一時霰後晴　　参加者 19 名

宿舎を 4 時に起床し、P2 に 5 時過ぎに到着する。この日も真冬のように寒く風が強い。テントに天幕を張る作業をする内に、当日応援隊メンバーが到着し始める。フィッシングセンターのオーナーに林道のゲートの開門をして頂く。支援メンバー全員が揃い朝礼後で当日の役割分担を説明する。ポイント受付の設営や国道の横断誘導路の設置作業を行う。交通整理のガードマンが到着する。6 時過ぎに受付体制が完了すると最初のトレイルランナーが駈け下り

てきて受付が始まる。やまゆき会のメンバー三名も元気よく通過した。天気は晴予報であったが、一時霰が降り出し荒天が続くかと心配をしたが徐々に回復した。11 時頃に最終の参加者が通過後、山岳連盟のスイーパーが到着し受付を終了する。

ポイントの設備、・備品を解体、回収後に昼食を取る。当日参加の支援隊の解散を行う。山岳連盟のトラックが到着して、ポイント設営資材・備品を返却する。コースに設置した標識回収作業を当日支援参加の疋田さん、和気さん、西澤さんの協力を得て 3 班に分けて行う。回収後に万葉の森の駐車場に戻る。回収標識の点検で№11 の回収洩れが判明して、P2 から最奥の池に戻り回収する。山岳連盟にP2 の撤収を報告して今年の支援を終了した。

浜崎さん、岡本さん始め皆さんの協力を得て、チャレンジ参加者、支援隊に事故や道迷いもなく無事に完了できました。早朝よりチャレンジ登山大会支援活動にご協力を頂いた皆様に感謝いたします。

## 大阪平野・大阪市渡船場めぐり　その②　初級 A

4 月 14 日（土） 晴　担当:安威喜雅　参加者 21 名

２日前に時間があったので、再度下見に行った。弁天町には北と南に改札口があることが判明。例会予告には明記していないので、北改札口へ来られた方には迷惑をかけてしまった。

当日は北出口で案内したので、何とかしのげた。近くの市岡元町公園へ移動し、参加者の確認と、コース及び注意事項を説明。大阪市の渡船は 8 ヶ所あり、前回の残り 4 ヶ所の内木津川は 45 分間隔があくので、前は通るが省略することにした。

天気予報ではあまり良くなかったが、夕方までは持つことを祈りつつ出発。まず 20 分位で甚兵衛渡船場へ 10 分待ちで乗船、1 分間の船旅を楽しんだ。渡ってから大正区役所のある千島公園へ、前回登った昭和山のふもとである。ここから車道沿いに南下し木津川渡船場入り口を経て船町渡船場へ、ここでの乗客は我々のみで貸切り状態であった。船を下りて 15 分で鶴町南公園、ここで昼食。

昼食後なみはや大橋へ。この橋は尻無川にかかる港区と大正区を結ぶ橋で、全長 1,740m、水面からの高さ 45m、勾配 6.9 度と夜景がきれいなことで有名。我々が渡るのに 30 分かかった。橋を渡り築港南公園で休憩の後、本日の唯一の山天保山へ。天保山は大阪市のホームページで日本一低い山と記載がある。標高 4.53mで山頂には二等三角点が石畳と同じ高さで埋まっていた。

いよいよ最後の渡船、天保山渡船は斜めに進み一番長く乗れる渡船であった。USJ の西洋

系若い女性スタッフが多数自転車で乗り込み他の渡船とは雰囲気が違った。船着場から USJ 横を通り JR 桜島駅へ。

割合長い距離だったが、皆様のご協力で列も長くならず、2 時 15 分無事ゴール。お疲れ様でした。大阪駅まで帰ってきたら、雨が降り出しラッキー。

コースタイム

JR 環状線弁天町駅(9:00)～市岡元町公園(9:10～9:15)～甚兵衛渡船場(9:35～9:45)～千島公園(10:15～10:25)～木津川渡船場前(11:10)～船町渡船場(11:25～11:40)～鶴町南公園・昼食(11:55～12:30)～なみはや大橋南詰(12:40)～築港南公園(13:20～13:25)～天保山公園・天保山渡船場(13:35～14:00)～JR 桜島線桜島駅(14:15) (乗船時間は各 2～3 分)

## 京都盆地宇治市： 天ヶ瀬 初級 B

4 月 15 日（日） 雨後曇 担当:諸橋勝彦 参加者 6 名

雨が降り続いているが 6 名が宇治駅に集合、天気予報を信じ例会を実施する事にする。ミーティングとコース説明を行い雨天の中、傘をさして出発する。古い町並みを通り抜け宇治川右岸沿いの道を上り宇治神社、朝霧橋前を過ごすと琴坂の標識が見えてくる。坂を上りまずは朝日山を目指し興聖寺の横からハイキング道に入る。七曲りの緩い坂道はよく整備されていて歩きやすく、半時もすると今日の最高地点の山頂(124m)に到着。そこに祭ってある観音様をお参りし小休止後下りに入る。

水溜まりが所々にあるが、雨で洗われ一層美しくなった新緑の中の下り道は心身がリフレッシュされるようで気持ちが良い。しばらく下って行くと山道は終わり国道出合に出る。国道を少し下ると分岐があり天ヶ瀬ダムに行く方向が記されている。そこから再び山中にはいり林道を上って行くと通行止めの表示と道標がある。指示に従って急坂を下ると間もなくダムを一望できる展望台に。集合写真を撮り目前の「憩いの広場」の休憩所で昼食タイムにする。

天気予報通り雨は止むが気温が下がってきている。じっとしていると寒くなり、早々に午後の行動に移る。歩き出すと間もなく急降下の階段があり、雨で滑りやすくなっている足元に十分気を付けて下って行く。降りてみると眼前には高さ 73 メートルもあるアーチ式ダムとダム湖が広がりその景観に圧倒される。対岸まで 250 メートルあるダム堰堤を渡り、管理事務所で話を聞いた後帰路に着く。発電所を横に見て宇治川沿いの歩道を歩いていくと吊り橋があり、再び対岸に渡る。しばらく歩き続けると来る時に通った琴坂の

登り口に出会う。平等院鳳凰堂の屋根が対岸に見える朝霧橋まで来る。ここで平等院へ行きたい人がおり、予定を変更し解散とする。

午前 9 時には雨が上がるとの天気予報を信じ例会を実施するが、昼前まで雨が上がらず参加者には申し訳ないと思いましたが、午後には雨も上がり、風情ある宇治を楽しんでいただけたと思います。

コースタイム

京阪宇治駅(9:40)～琴坂(9:55)～朝日山(10:25～10:35)～国道出合(10:55)～国道分岐(11:10)～憩いの広場(11:45～12:15)～天ヶ瀬ダム(12:30～12:40)～吊橋(12:55)～朝霧橋(13:35)

## 京都西山：　小塩山カタクリ　初級C

4 月 17 日(火) 曇り　担当:広瀬美紀子　参加者 13 名

天気予報では、今日は 70%の雨との予報でした。

8 時 15 分、阪急京都線東向日駅に集合し、8 時 22 分のバスに乗り南春日町で下車。

登山口まで各々ストレッチしながら歩きましょうで、スタートしました。大原神社でトイレ休憩して灰の谷まで向かいました。期待出来そうな天気。皆さんの普段のおこないが良く灰の谷、Nの谷、御陵の谷のカタクリもイナバウアー状態でした。

オマケにNの谷では白のカタクリ 4 本も見てラッキーな 1 日でした。私も含め皆さんもこれだけ咲き乱れていたのは、小塩山では初めてと言ってました。30 年まえはもっと沢山咲いていたそうです。

下山後、藤の花も綺麗に咲き乱れ、皆様にお疲れ様とむかえてくれている様でした。

小塩山山頂へは時間のゆとりがあり、登られた事の無い方がおられたので追加で登りました。

コースタイム

阪急京都線東向日駅(8:22)＝南春日バス停(8:45)～大原神社駐車場(8:55～9:05)～登山口(9:15)～第一登山道歩道分岐(9:40～9:45)～炭の谷(10:30～10:50)～Nの谷(11:00～11:30)～電波鉄塔・昼ご飯(11:40～12:10)～御陵の谷～小塩山山頂(12:30～12:35)～大原神社(13:40)～南春日町バス停(13:50)解散

## 丹波高原中部：立石山(300.8m 三等△)　中級C

4 月 19 日(木) 晴　担当:石田髙教　参加者 5 名

今週は珍しく例会が 14、15、17、19、22 日と続くので参加者は行先山を選んで参加出来る

ので 5 名と少なかった。実は低山でグレードに合ったレベルですが、一部急登・急下降があり巨石が多く、気になったのは軽い藪でもかなりの年月が過ぎるとどんな状態になっているのかわからず、最終バスに時間の余裕を持って間に合うか心配だったが少人数で安心出来ました。

JR 福知山線谷川駅前から坂尻行きの神姫バスに乗り、前川バス停で降ります。加古川(佐治川)を渡り取付きの一の宮神社に向うと立石山と右にコブの形で南中大岩が見えます。一の宮神社でミーティング、体操、身支度をしてスタートします。敷地は広く神社裏に獣除け柵があり、右奥の扉を開けて中に入り扉を閉めると右に一つ目の大岩が見えます。踏み跡あるがテープは無く急な谷を山頂へ向かいます。踏み跡は南中大岩の基部へ行くので注意が必要です。二つ目の大岩を過ぎ三つ目大岩に看板が見えます。巨岩に岩穴があり洞穴で博打されたことから「ばくち岩」と看板ありました。ここから谷を更に登り、登りにくくなったところから左尾根に取付き、尾根を山頂へ激登りすると立石山山頂中心部に出ます。

大岩山から南中大岩

南中大岩から大岩山

東横(右)に立石山大岩があるが、西端(左)に三角点あり、先に行きタッチと集合写真を撮りピストンします。立石山大岩の左側(北)を巻くが行き止まりで尾根へ降りれず、戻り右側(南)を巻いて尾根へ出て大岩山へ向かう。岩多く痩せ尾根の馬ノ背らしいところもあり、岩の無いところはシダの軽い藪漕ぎで大岩山に着きます。展望は好く直下に南中大岩が見えます。以前残置ロープが古く使わずに降りたので、今回はロープを持って来たが古いロープは残置のままで新しいロープがあり、南中大岩に立ちます。クライミング用金具類が数ヶ所取付けされていました。私達は上から岩を降りただけですが、岩の高さ 41m と標識があります。

大岩山に戻り昼食をして東北尾根の 338m ピークへ。低木の松の枝葉先が刺さり、サルトリイバラ・シダの藪がだんだん悪くなる。338m ピークを越え、439m ピークへは更に悪い状態で分岐から以前降りたことのある谷を、ジグザクに夫婦川(谷)へ降ります。廃止の G パーク山南ゴルフクラブの道路を通って福田川と加古川を渡り、集落からバス停に向かう途中の和田水源地三角点へ立寄り、和田下町バス停へ。無事周回で早く着き最終バスを待ち帰路につきました。 今回の山行で見たお花はミツバツツジ、マムシグサ、チゴユリ、ギンリョウソウです。

コースタイム

JR 福知山線谷川駅前バス停(9:50)＝前川バス停(10:04)～一の宮神社、ミーティング、体操(10:30～10:40)～ばくち岩(10:50～10：55)～立石山中央部(11:15～11:20)～西端の三角点(11:25～11:30)～東端の大岩(11:35)～大岩山 300m(11:50)～南中大岩(12:00)～大岩山・昼食(12:10～12:30)～338m ピーク(13:15～13:20)～夫婦川(谷)(14：00～14:05)～福田川～加古

川～和田水源地 82.2m 四等三角点(15:35～15:45)～和田下町バス停・解散(16:00)

## 例会委員学習例会

4 月 22 日(日)晴れ　担当:例会委員会　参加者 21 名

例会委員学習例会プログラム

| TIME | 学習項目 | 備　考 |
|---|---|---|
| 9:00 | 集合、装備確認 | 蓬莱峡入口広場に集合 |
| 9:10 | 開会の挨拶 | |
| 9:15 | 本日のプログラム説明 | ロープ設置 |
| 9:20 | 1. ストレッチ指導法 | |
| 9:40 | 2. 歩行、アイゼン歩行 | |
| 10:40 | 3. ロープワーク | |
| 12:05 | 昼食休憩 | |
| 12:35 | 4. 雪山山行 | |
| 13:00 | 5. 読図の基本 | 終了後、上級・初級2班に分かれ座頭谷へ移動 |
| 13:40 | 6. 渡渉(場所選定他、注意点) | 全員　ロープ設置～渡渉実践 |
| 14:10 | 7. 読図実践　中・上級班 | 終了後、各班、蓬莱峡入口広場に戻る |
| | 読図実践　初級班 | |
| 15:10 | 8. 遭難救助要請 | |
| 15:30 | 9. 心肺蘇生 | |
| 15:40 | 10. 夏山と危険 | |
| 16:10 | 11. クーリングダウン | |
| 16:15 | 撤収 | |

## 大峰山系：大峯奥駈道（吉野～青根ヶ峰～四寸岩山～大天井ヶ岳～山上ヶ岳～伯母谷～柏木）　熟達 E

4 月 28 日（土）～4 月 29 日（日）　担当：渡辺正美　参加者 2 名

4 月 28 日　晴

縦走初日。近鉄阿部野橋駅より吉野行きに乗車（予定より一本前）。ホームページでは吉野神宮駅からバスが出ているはずが、運行していないとバスの運転手。確認不足を反省し、当初予定の電車に乗り吉野駅へ。バスで中千本下の公園へ。坂道を登り運良く 1 時間に 1 本の奥千本行きのバスに乗車し奥千本着。

大きな鳥居より坂道を進み金峰神社。登山届けを出して大峯奥駈道歩きを開始。久しぶりに重いリュックを背負い呼吸を整えて西行庵分岐。眺めが良くなり、平坦な道を進み、分岐より坂を登ると青根ヶ峰山頂で一休み。樹林の中で静か。下って舗道歩き。途中標示ある山中歩きを省略し舗道を進んで行き四寸岩山入口より入り、木陰で休憩。名古屋から来た縦走者と山話。樹林の坂道を登り、KOBOTRAIL のテープ等に励まされ、アップダウンしつつ進み、四寸岩山山頂。

昼食を取り、縦走者とご飯談義。パックで簡単にご飯が炊けるとのことだが、いまだに未確認。縦走者が通過していく中、出発。稜線を上り下りしながら徐々に下り林道を横切り、少し登り返すと二蔵宿。無人小屋で修業の方、利用の決まりあり、まだ修行者の歩く時期ではないので先着順での利用。奥にザックを置きシュラフを広げ場所を確保して、サブザック一つのみで水場へ。祠脇の水平道をトラバースするように歩いて、はるか下に林舗道が見える沢が水場で、水量もあり、喉を潤し水を確保し戻る。時間があるので持ってきたテントの設営訓練。周りのベテランの方々から指導を受け、少しコツを掴み完成後、撤収し夕食。

広島から来た方に地酒と焼酎のおいしい振舞酒を頂き酒の話を教えてもらう。縦走テント泊（7張り）の人が増え小屋に戻り、まだ明るい中、就寝準備。小屋泊の方 3 名と山談議。新潟から来た方は、今回が 5 度目でザックもコンパクト。東京から来た女性の方は、小柄だが馬力あり。明日は未明より四寸岩山へ。兵庫の方は、明日は吉野へ下ると身軽な出で立ち。日没前に就寝（大峰山系は、誠に全国区の山々であることを実感）。

コースタイム

近鉄南大阪線阿部野橋駅(7:50)＝吉野駅(09:40～10:10)＝中千本（10:30)～奥千本(10:40～10:50)～青根ヶ峰（11:15)～四寸岩山（13:05)～二蔵宿(14:25)～就寝(18:20)

4 月 29 日　晴

昨晩の満月の明るさに感動しつつ、未明に起床。既に縦走の 2 人は出発。身支度を整えて、小屋を出る時は、テントは 2 人のみ。歩き始めると朝日が昇り拝む。急坂をゆっくり進み、旧宿坊跡で一休みし、歩いて来た山々の景色を確認。急坂・岩々を経て大天井ヶ岳山頂。昨日の広島の方に礼を言い先へ。樹林の不明な道をテープ・先行者に助けられ下る。途中女性を含めた団体とすれ違いつつ五番関へ。一息入れ、女人結界門を潜り、ゆるやかな坂道を進む。今宿跡で小休止し、勝負塚山への尾根を確認。岩・鎖の急坂を経て進むと洞辻茶屋で一般道と合流。茶屋は、まだ営業の時期ではなく全て閉まっている。山上ヶ岳も同様で静か。山々の展望を楽しみ、なだらかな縦走路を進んで行き、小川の流れる小笹宿。ゆっくり昼食を取り、登り進むと阿弥陀ヶ森で大峰奥駆縦走ルートと柏木への分岐(女人結界門)。

一息入れ、今回は、ここから縦走路を離れ**天竺平**、上谷分岐を経て柏木に下ることにする。笹道を下り伯母谷覗の絶壁に足を震わせる。ここで昨日同宿した女性と再会しエールを送り、長い同じような平坦道を急斜面の尾根を確認しつつ急ぎ足で下る。植林地・水平道を経て柏木登山口に無事到着。バスは、見当違いで日曜日は 1 日 1 本の最終便。バス運行とバス停の位置を上野さんに確認してもらう。近くの白髭岳を朝 1 日 1 便のバスで来て急ぎ足で往復した人と同乗し、大和上市駅へ。ここで 2 日間の労をねぎらい乾杯し帰阪。今回参加の上野さんと出会った方々に感謝。

コースタイム

二蔵宿・起床(04:30)～宿舎出発(05:30)～大天井ヶ岳 (06:45)～五番関(07:30)～山上ヶ岳(10:30)～小笹宿・昼食(11:20～12:05)～阿弥陀ヶ森(12:30)～伯母谷覗 (12:55) ～柏木登山口(15:25)～バス停(15:30～16:25)＝近鉄吉野線大和上市駅(17:20)

## 京都北山：魚谷山（△ 816.0m） 中級Ｃ

4 月 29 日(日) 晴 担当:原田佳忠 参加者 24 名

このコースは以前に実施したが、事前に下見すると樋ノ水谷、細ヶ谷が台風その他で荒れていて倒木も多数だが、例会は可能と判断した。但し、アズキ坂から滝谷峠間は通行不可能なので、柳谷峠から滝谷峠へは芹生尾根を利用すると変更した。出発前にコース説明と準備体操をし、富士神社、大岩分岐を経てユリ道に入る。樋ノ水峠への分岐から西北西へと貴船山を巻くように進むも、以前は笹が生い茂り風情ある樋ノ水峠だったが全く様相が変わっていた。樋ノ水谷へ入り多数の倒木を超え渡渉を繰り返し進むと、やがて谷は西へと方向転換する。山野草も探しながら、参加者が多いので、ゆっくりと慎重に歩行する。直谷の林道に出る。ここ

は昭和 50 年ごろまでは林道は無く木馬(きんま)道が、最後まで続いていて杉の木立の中を直谷のせせらぎを聞きながら歩けるので、北山の岳人達が最も好む場所だった。崩壊した直谷山荘を過ぎ、少し進んで麗杉荘(現在は使用はされていない)付近で昼食とする。

昼食後しばらく直谷左岸を進むと細ヶ谷への腐食した橋があり、慎重に渡る人、渡渉する人で難なく通過した。核心部の細ヶ谷は荒廃しており、苔むした岩肌を繰り返し渡渉し北へと進む。有名な雪山讃歌の小屋跡を過ぎると左に今西錦司のレリーフがあった。すぐ先に北山荘があり中はキチンと整理されていた。北山荘前で記念写真を撮り、柳谷峠に向かう。峠は開けた見晴らしの良い場所で、本日の目的の魚谷山を往復した。芹生尾根を進むが、まずは東へと進み一度南へ又東へとコンパスを見ながら進むも広い尾根で難しいルートだった。明快な尾根に乗り南南東へと進みやがて滝谷峠に到着しほっとする。ここからは貴船山を目指してユリ道を進み、ケルンのある貴船山を過ぎて間もなく下見の時に見つけた分岐で今回も、二ノ瀬尾根コースを歩行する。歩きやすい尾根道で、やがて大岩分岐に到着し、往路のユリ道を多数の石を気にしながら慎重に下山し富士神社で解散した。

今西錦司レリーフ後方の一等三角点レプリカ

今回の学習を、山野草の学習とし、ヒトリシズカやエンレイソウ他、沢山の花を観賞したが、種類が多く、また、開花予想になかった「クリンソウ」と「ヤマシャクヤク」は進めば進むほど、大群生が現れるので何度も見とれてしまった。コース全般が荒れていて慎重に歩き適時に休息も取り、時間を要した。当初の計画を進路変更したので、予告の段階でグレードも上級と変更すべきだったと反省した。

コースタイム

叡山電鉄鞍馬線ニノ瀬駅(9:24)～大岩分岐(10:21～10:31)～樋ノ水峠(11:17～11:30)～直谷林道(12:15～12:17)～麗杉荘・昼食(12:20～12:50)～細ヶ谷分岐(13:20)～今西錦司レリーフ(13:40～13:47)～北山荘(13:53～14:00)～柳谷峠(14:25～14:31)～魚谷山(14:39～14:52)～柳谷峠(14:59～15:09)～滝谷峠(16:24～16:31)～貴船山 716m(17:07～17:14)～二ノ瀬尾根コース(17:20)～大岩分岐(18:00～18:07)～富士神社(18:40)